

レファレンス事例

片岡源次郎に関する情報

(アメリカ, 美術館)

[回答]

御照会の片岡源次郎については、雑誌『日本美術』(東京・画報社)10巻10号(明治44年8月)消息欄(332ページ)に、次の記事が出ております。

片岡源次郎 帰朝多年米国に於て洋画を研究したる同氏は、6月9日横浜入港の汽船モンテ・グル号にて帰朝せり、氏は佐賀県有田の生れにて、18歳の時渡米し、紐育市のアート・スチューデント・リーグを卒業し、爾来洋画家として立ちたるが、本年は42歳なりと。

なお、念のため、佐賀県西松浦郡有田町役場に、戸籍の有無、子孫の消息につき照会しましたところ、大略、次の如く返事を得ました。

片岡源次郎(本姓片岡、養子縁組により江副姓、明治27年離縁につき復籍)は慶応3年3月15日佐賀県西松浦郡有田町1739番地に生まれ、大正13年5月8日東京市小石川区林町57番地で死亡しております。

* * *

石田英一郎の追悼号(個人)

[回答]

雑誌の追悼号特集は見当りませんが、『雑誌記事索引』にて、次の記事を検出しました。

- 1) 岡 正雄「持ち続けた反骨精神-石田英一郎君をいたむ」(『民族学研究』33巻2号、昭和43年9月 p.104)『朝日新聞』昭和43.11.12夕刊より転載。
- 2) 浅野晃「石田英一郎君を悼む」(『民間伝承』32巻4号 昭和43.12 p.208—209)
- 3) 本多秋五「石田英一郎氏のこと」(鬼石谷戸から—14—)『展望』122号 昭和44.2 p.184—187
- 4) 「石田英一郎氏をしのぶ」『展望』122号 昭和44.2 p.159—175
京大生時代の石田君(住谷悦治)
p.159—166
夫英一郎との日々(石田布佐子)
p.167—175
- 5) いいだもも「グリュックリッピ?—石田英一郎における世界と日本」『世界』287号 昭和44.10 p.291—296

* * *

塙保己一の伝記書(個人)

[回答]

- 1) 市村宏『塙保己一の生涯』日本書院 昭21
- 2) 長沼依山『塙保己一伝』刀江書院 昭31(青少年郷土読本「埼玉県人物誌シリーズ」第3巻)
- 3) 山県長州『塙保己一』温故学会出版部 昭31
- 4) 太田善磨『塙保己一』吉川弘文館 昭41(日本歴史学会編、人物叢書のうち)